

## [陸上競技]

## 箱根駅伝予選会突破 2年連続、62回目の「箱根」

第82回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会が10月22日、立川市の国営昭和記念公園で行われ、専大は10時間18分58秒(10人の合計タイムからインカレポイントを差し引いたタイム)の9位で、2年連続62回目の箱根駅伝出場を決めた。

## 座間が快走 個人4位

座間マボロベネディック(商2・藤沢翔陵高)が今年も個人4位(日本人2位)の快走。高橋良輔(経済3・藤沢翔陵高)も粘りの走りで30位に入った。夏にケガを負い「1カ月前からようやく走れる状態になった」

という辰巳陽亮主将(商4・洛南高)はチームを牽引。体調を崩し、万全の状態ではなかった長谷川淳(経済3・専大松戸高)もエースの底力を見せた。チーム5位でゴールしたのは小柳秀文(経営1・長崎南山高)。秋に入って一気に伸び、大きく貢献した。

加藤覚監督は「予選はケガなどのアクシデントで9位に甘んじたが、本大会ではシード権獲得を目指します」と話し、辰巳主将も「もう少し上位にいけると思っていたが、精神面の弱さが出てしまった。本大会で100%の力が出せるようにコンディションを整え、シード権獲得を狙いたい」と意気込みを語る。

(宮山 友希・文2)



箱根出場を決め、喜びにわく部員たち(撮影・橋本)



[陸上競技]

## 箱根へつながる“走り” 全日本大学駅伝

全日本大学駅伝 全日本大学駅伝対校選手権(出場25校)が11月6日、名古屋市熱田神宮～三重県伊勢市伊勢神宮の全8区間(106.8キロ)で行われ、専大は5時間28分25秒の15位でゴールした。

1区・座間が、トップ争いをする好走を見せ、3位で“襷”をつなぐと、2区・高橋も5位をキープ。雨が降りしきる悪天候に後続のランナーは苦戦を強いられたが、中盤までは上位争いをし、あと2カ月を切った箱根駅伝につながるレースとなった。



力走するアンカー・佐藤彰浩(文3)＝撮影・宮山

(宮山 友希・文2)

## [ゴルフ]

## 横山が初優勝

朝日杯争奪 日本女子学生 朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権  
が10月25、26日、埼玉県・こだまゴルフクラブ(6248ヤード=パー72)で行われ、横  
山倫子主将(文3・香川西高)が初優勝を果たした。

昨年は浅間山噴火の影響で中止となり、2年ぶりに開催されたこの大会。前回大  
会準優勝の横山は、初日こそ9位タイだったが、2日目をベストスコアの71でまわ  
り、逆転で栄冠を勝ち取った。「このタイトルは取りたかったので、優勝できてとても  
うれしい。これからに向けての原動力になる。また、これを 励みに頑張りたい」と喜  
びを語った。この結果、来年の同大会のシード権を獲得した。

女子4位、男子5位 信夫杯

また、同クラブで行われた信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦(10月27、28日)は、  
女子が4位、男子が5位に終わった。

信夫杯は18ホールストロークマッチで、各校上位5人の合計ストローク数で競われ、各地区学連から推薦さ  
れた男子12大学、女子9大学が出場する。初日は男女とも、東北福祉大に次ぐ2位と好調な滑り出しだった  
が、2日目はふるわず、順位を下げた。



2日目71のベストスコアで回り、  
逆転優勝した横山

(澤田 和輝・法2)

## [馬術]

### 3種目総合で準優勝 障害飛越、森が個人優勝

全日本学生 全日本学生馬術競技大会が11月2日から6日まで、JRA馬事公苑で行われ、3種目総合(障害・馬場・総合)で準優勝となった。個人では障害飛越で森裕悟主将(商4・関東第一高)が優勝に輝くなど各種目で健闘した。

【障害飛越】森・ウイニングエッチ号が、2回の走行を唯一のノーミスでクリアし、総減点0のパーフェクトな騎乗で頂点に立った。武井慎弥(経済1・奈良高)・コピーキャット号も8位となり、団体でも3位。



チームを優勝に導いた森

【馬場馬術】チームトップは西山慶太(商3・玉野高)の5位。団体は3位となった。

【総合馬術】吉澤和紘(経営2・西宮香風高)の8位が最高順位だったが、全出場選手が20位以内に入り、団体3位。

10月8、9日に行われたオリンピック記念競技大会では、ラロ号記念障害飛越競技で1位から5位までを独占した。

専大同士のジャンプオフを制し、優勝に輝いたのは沼尻孝夫(経営2・取手松陽高)・ロッキンジー号。以下、西山・スフォルツァ号、武井・コピーキャット号、森・ウイニングエッチ号、西山・聖専号と続いた。「緊張はしなかったが、同じ大学の仲間だからこそ負けたくなかった」と沼尻。また、学生賞典馬場馬術では、西山・ゴールドミツル号が2位、西原郁人(経済2・札幌光星高)・ダンテ号が4位に入賞した。

(加藤 未希・文1)

## [レスリング]

### 60kg級、120kg級 岩崎、北村が3位

全日本大学グレコ 全日本大学グレコローマン選手権が10月6、7日に駒沢体育館で行われ、60kg級の岩崎健太(経済4・専大北上高)と、120kg級の北村克哉(商2・日本工大付属高)が3位入賞を果たした。

岩崎は、準決勝で惜しくも同級優勝者に敗退。しかし、3位決定戦では相手の攻撃を封じて快勝した。「優勝を狙っていたので結果には満足していない。全日本選手権で結果を残すためにさらに練習をしていきたい」と意欲を語った。

また、66kg級の前野健瑠(経済3・霞ヶ浦高)、96kg級の野口智行(経済2・向上高)が5位入賞、84kg級の矢野将章(経済1・広陵高)が7位入賞を果たし、大学対抗得点では25校中5位と好成績を収めた。



3位に入賞した北村(右)と岩崎

(清水 智之・ネット情報2)

## [準硬式野球]

## 秋季リーグ戦完全優勝

東都大学準硬式野球秋季リーグ戦が9月6日から10月23日にかけて、八王子市民球場で行われた。専大は10勝2敗・勝ち点5で対戦校すべてから勝ち点を挙げ、7季ぶり18回目の優勝を見事完全優勝で果たした。

島田克幸主将(経営4・専大北上高)は「課題であった守備の連係がうまくいったことが結果につながった。ここまで支えてくださった方々に感謝したい」と語った。

個人賞は次の通り。▽最優秀選手＝島田▽最優秀投手＝宮森一(商4・星稜高)▽首位打者＝新井藍(商4・松代高)▽ベストナイン・投手＝宮森、外野手＝島田、新井



完全優勝し喜びにわく選手たち

また、関東地区の大学リーグ(北関東、東京六大、東都、神奈川、新関東)、社会人リーグ(信託、銀行、損保、生保)の優勝チームによる関東地区大学・社会人準硬式野球王座決定戦(11月3、5、6日、横須賀球場)でも快進撃を続け、決勝で立教大を4-3で下し、初優勝を遂げた。(木村 太一・法2)

## ◀国際大会出場選手▶

### ◇ゴルフ部

林 佳世子(経営2・立正高)2005アジア大学ゴルフ大会(11月29日～12月1日＝韓国・済州道)

※日本代表選手として。

### ◇相撲部

池山 辰徳(商4・鹿児島実高)第30回ジャパンウィーク2005年イタリア・ナポリ(11月23～29日＝イタリア・ナポリ市)

※日伊友好親善を目的としたイタリア派遣日本武道代表団の一員として。

### ◇馬術部

西山 慶太(商3・玉野高)国際馬術競技会(12月8～11日＝チャイニーズ台北)

※障害馬術に出場。